

# 大学院オラトリオ・アンサンブル演奏会

2022年12月10日(土)  
15時00分 開演 (14時30分 開場)  
シルバーマウンテン 1F

## ▲新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐためのお願い

- ・マスク着用の徹底、こまめな手指消毒・手洗い・咳エチケットの励行にご協力ください。
- ・大声や対面での会話はお控えください。
- ・演奏者への声援はご遠慮いただき、拍手のみとしてください。
- ・休憩時、終演後はスタッフが扉を開けるまでお待ちいただき、空いているドアから混雑を避けて入退場してください。
- ・客席内やロビーでのご飲食はお控えください。
- ・出演者への面会はできません。出演者への花束・プレゼントもご遠慮ください。
- ・万一、集団感染の発生が明らかになった際は、保健所に入場者の情報を提供する場合がございます。

~Program~

W.A.モーツァルト / レクイエム ニ短調

Wolfgangu.Amadeus.Mozart(1756 - 91) Requiem d - moll K.626

*I. Introitus* 入祭唱

*II. Kyrie* キリエ

*III. Sequenz* 続唱

1. Dies iræ 怒りの日
3. Rex tremendæ 恐るべき御稜威の王
5. Confutatis 呪われたもの
6. Lacrimosa 涙の日

*IV. Offertorium* 奉献唱

1. Domine Jesu 主イエス・キリストよ
2. Hostias 賛美の生け贄と祈り

*V. Sanctus* 聖なるかな

*VII. Agnus Dei* 神の子羊

*VIII. Communio* 聖体拝領唱

## ～ Program notes ～

この作品は、W.A.モーツァルト（1756-91）が1791年に作曲した彼の最後の作品で、ヴェルディ、フォーレのレクイエムとあわせて『三大レクイエム』と呼ばれる。そもそもレクイエムというのは日本語にすると鎮魂歌。キリスト教の儀式『ミサ』には様々な形態のものがあるが、その中でもこのレクイエムは死者のために捧げられるのである。

レクイエム作曲の経緯はいかにも謎めいたものが伝承されている。謎の男がモーツァルトを訪ね、この曲の作曲を依頼し多額の前金を置いていったというもの。しかもこの男は全く身元を明かそうとはしなかった。

モーツァルトは作曲に取り掛かるものの健康状態が悪化してしまい、「ラクリモサ」を書いている途中35歳で亡くなった。そして奇しくもこの年の12月10日に行われた彼の追悼ミサで未完の状態でも初演されることとなった。その後の部分は弟子のF.ジュスマイヤー（1766-1803）が補筆し完成させた。この出来事は後にモーツァルトの妻で未亡人となったコンスタンツェの再婚相手、ニッセンが著した伝記などによって「モーツァルトは死の世界からの使者の依頼で、自らのためにレクイエムを作曲していた。」との話が伝わるようになった。

本日は合唱部分を抜粋して演奏する。

### *I. Introitus* 入祭唱

Requiem æternam dona eis, Domine,  
Et lux perpetua luceat eis.

Te decet hymnus, Deus, in Sion,  
Et tibi reddetur votum in Jerusalem.

Exaudi orationem meam,  
Ad te omnis caro veniet.

主よ、永遠の安息を彼らにお与えください。  
そして絶えることのない光が彼らを  
照らしますように。  
神よ、貴方はシオンにおいて賛美されます。  
そして、エルサレムにおいて、  
貴方への誓いが捧げられるでしょう。  
どうか私の祈りを聞き入れてください。  
全ての人の肉体が、主のもとへと  
帰ることができますように。

## II. Kyrie キリエ

Kyrie eleison.

Christe eleison.

Kyrie eleison.

主よ、憐みたまえ。

キリストよ、憐みたまえ。

主よ、憐みたまえ。

## III. Sequenz 続唱

### 1. Dies iræ 怒りの日

Dies iræ, dies illa

solvet sæclum in favilla:

teste David cum Sibylla.

Quantus tremor est futurus,

quando judex est venturus,

cuncta stricte discussurus.

その日は怒りの日

世界は破壊され灰となるでしょう

ダヴィデとシビラの予言のとおり

人々の恐れはどれほどのものになるだろうか

裁く者が現れ

全てのことを厳しく裁くだろう。

### 3. Rex tremendæ

Rex tremendæ majestatis,

qui salvandos salvas gratis,

salva me, fons pietatis.

恐るべき御稜威の王

恐るべき御稜威の王よ

救われるべき民を、恵みをもって

お救いくださるお方よ

慈悲の泉よ、私をお救いください。

### 5. Confutatis 呪われたもの

Confutatis maledictis,

Flammis acribus addictis,

Voca me cum benedictis.

Oro supplex et acclinis,

cor contritum quasi cinis:

gere curam mei finis.

呪われたものたちを退けて

激しい炎による判決が下される時

祝福された者と共に私をお招きください。

私は跪き、そしてひれ伏して願います

私の心は灰のように砕かれています

私の終わりの時を、どうかお守りください。

### 6. Lacrimosa 涙の日

Lacrimosa dies illa,

qua resurget ex favilla

judicandus homo reus:

Huic ergo parce Deus.

pie Jesu Domine,

Dona eis requiem.

Amen.

その日は涙の溢れる日

燃える灰の中から蘇り

裁きを受けるべき罪人は

神よ、その者をお許してください。

慈悲深き主イエスよ、

彼らに安らぎをお与えください。

アーメン

#### IV. *Offertorium* 奉献唱

##### 1. *Domine Jesu*

主イエス・キリストよ

Domine Jesu Christe, Rex gloriæ,  
libera animas omnium fidelium defunctorum  
de pœnis inferni, et de profundo lacu;  
libera eas de ore leonis,  
ne absorbeat eas Tartarus,  
  
ne cadant in obscurum.  
Sed signifer Sanctus Michæl  
repræsentet eas in lucem sanctam,  
quam olim Abrahæ promisisti et semini ejus.

主、イエス・キリストよ、栄光の王よ  
全ての死する信者の魂を  
地獄の罰と深淵の底よりお救いください。  
彼らを獅子の口よりお救いください  
深淵の底へ飲み込まれることが  
ありませんように  
闇に落ちることがありませんように  
旗手、聖ミカエルによって  
聖なる光へと導いてくださいますように  
かつて貴方がアブラハムと  
その子孫に約束されたように

##### 2. *Hostias* 賛美の生け贄と祈り

Hostias et preces Tibi,  
Domine, laudis offerimus.  
Tu suscipe pro animabus illis,  
quarum hodie memoriam facimus.  
Fac eas, Domine, de morte transire ad vitam,  
quam olim Abrahæ promisisti et semini ejus.

賛美の生け贄と祈りを  
主よ、貴方に捧げます。  
どうかお受け取りください  
私たちが思いをよせた魂たちのために  
彼らを死から生へとお導きください  
かつて貴方がアブラハムと  
その子孫に約束されたように

#### V. *Sanctus* 聖なるかな

Sanctus, Sanctus, Sanctus  
Dominus, Deus Sabaoth  
Pleni sunt cæli et terra gloria tua  
Hosanna, in excelsis.

聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな  
万軍の神なる主よ  
貴方の栄光は、天と地に満ち溢れています  
万歳、いと高きところに

#### VII. *Agnus Dei* 神の子羊

Agnus Dei, qui tollis peccata mundi  
dona eis requiem.  
dona eis requiem sempiternam.

世の罪を除いてくださる神の子羊よ  
彼らに安息をお与えください。  
彼らに永遠の安息をお与えください。

ソリスト

ソプラノ 長島 彩    アルト 上原 愛美    テノール 趙 宇祥    バス 関沢 茂樹

## ～ Profile ～

### 指揮 櫻田 亮 (客員教授)

東京藝術大学卒業。同大学院音楽研究科修士課程修了。イタリア国立ボローニャ音楽院に留学。イタリア各地でモンテヴェルディ「ウリッセの祖国への帰還」に出演した他、'07年のモンテヴェルディ「オルフェオ」初演400年では、世界的なヴィオラ・ダ・ガンバ奏者であるJ.サヴァールなどのグループとエジンバラ音楽祭等で共演。国内でも東京二期会「ラ・チェネレントラ」ドン・ラミーロ、新国立劇場「ドン・ジョヴァンニ」ドン・オッターヴィオ等のオペラ出演の他、W.サヴァリッシュ指揮によるN響をはじめ読日響、新日本フィルなど数多くのオーケストラと共演。中でもバロックから古典派の作品をレパートリーに国際的に高い評価を得ており、鈴木雅明氏率いるバッハ・コレギウム・ジャパンとはCD録音やコンサートでの共演他、ヨーロッパ・アメリカ・オーストラリア・イスラエル等の海外ツアーにも参加。また、イタリア・バロック音楽の普及にも務めている。第27回イタリア声楽コンクール、シエナ部門大賞受賞。ブルージュ国際古楽コンクール第2位(声楽最高位)。東京藝術大学教授。二期会会員。

## ～ Member ～

### 洗足学園音楽大学大学院アンサンブル研究履修生

ソプラノ	芳村 早紀子 (院2)	稲葉 みのり (院1)	呉 文曦 (院1)	張 宇 (院1)	長島 彩 <sup>b</sup>
アルト	上原 愛美 (院1)	安井 円香 (院1)	程 馨儀 (院1)	川崎 麻衣子 <sup>b</sup>	
テノール	趙 宇祥 (院1)	石井 基幾 <sup>b</sup>	櫻井 亮太 <sup>b</sup>		
バス	関沢 茂樹 (院1)	堺 裕馬 <sup>b</sup>	服部 聖人 <sup>b</sup>		
ピアノ	安藤 真伊 <sup>b</sup>	福島 未紀 <sup>b</sup>			

<sup>b</sup>…演奏補助要員

授業担当教員 櫻田 亮

制作企画運営責任者 柳澤 涼子

アカデミックコーディネーター 君島 広昭

インスペクター 上原 愛美